

国際研究戦略(概要)

農林水産分野の国際研究を取り巻く近年の情勢や地域別課題を開発途上地域を中心に整理し、重点的に取り組むべき研究課題と方策を提示

国際研究を取り巻く情勢

- ① 国際的食料需給の逼迫
- ② 地球温暖化問題の顕在化
- ③ 食品の安全への関心の高まり
- ④ 遺伝子組換え技術の実用性と応用可能性の拡大
- ⑤ 知的財産権及び生物遺伝資源の重要性増大

地域別の重点研究課題

アフリカ

- ・ネリカ稲の生産性向上
- ・乾燥耐性作物の開発(DREB遺伝子の活用等)
- ・土壌肥沃度の改善(マメ科植物の導入等)

アジア

- ・食品の安全に関する技術の向上
- ・鳥インフルエンザ等の防除
- ・農薬や窒素施肥による土壌や水質汚染等の環境負荷軽減
- ・バイオマスの利活用(オイルパーム廃材、キャッサバ搾りかす等)

地球規模の環境問題

より広い地域を視野に入れた研究が必要～

- ・温暖化防止適応技術の開発(DREB遺伝子を活用した乾燥・塩害に強い作物の開発等)
- ・森林減少・劣化の継続的モニタリングによる温暖化影響予測
- ・感染症対策の推進

国際研究推進のために講ずべき方策

研究推進体制の強化

- ・オール・ジャパンでの組織的な国際研究の推進(J-FARDを活用)
- ・CGIARとの連携強化
- ・JIRCASの機能強化(研究対象地域と研究課題の重点化)

国際研究を担う人材の育成

- ・ポスドク研究者を対象とした研修
- ・アフリカを熟知した研究者の育成
- ・アフリカ人研究者の能力構築

※J-FARD:我が国の産学官の研究者が連携して農林水産国際研究を推進するためのフォーラム。事務局はJIRCAS。
CGIAR:国際農業研究協議グループ。15の国際農業研究センターから構成される国際機関。事務局は世界銀行。
JIRCAS:(独)国際農林水産業研究センター